

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「急がば回れ」

先日、ある钣金工場の社長に仕事のできる、仕事が早い人ってすぐにわかるものですか？ と質問しました。社長いわく、ひと通りの仕事を見れば、おおよそわかるとのこと。仕事のできる人は、まず損傷部分を確認したら、関連しそうなものをすべてバラす。そして交換するもの、修理で直せるもの、部品を発注するもの、などを洗い出す。場合によっては必要以上により細かくバラすことで見落としが少なくなり、効率よく仕事ができる。一見、無駄な作業に見えることでも、最初の段取りを考えて行うことで後の作業に響く。一方、面倒な作業を省いたせいで、小さな部品の損傷に気づかず、その部品の入庫に時間がかかってしまったり、最後の最後で何かが足らなかつたり、結局、完了するまで時間がかかってしまうという事態になってしまふことがある。結果、大きな差が生じるようになります。仕事には、技術や技能が必要ですし、業種にもよるのですが、どんな仕事にも同じようなことがいえるのではないのでしょうか。

誰でも、効率よく、確実に、なるべくミスを無くしたい、という思いで仕事をしています。そのため、今日やることをリストにして、(TO DO リスト)で管理している方も多いいと思います。ある記事でみたのですが、やらないリストをつくる、というのも面白いと思いました。やらないリストとは、いつかはやるべき仕事だが、いまますぐではないものをリスト化する、というものです。仕事の優先順位をつける、ということになるのですが、やらないことをリストアップすることにより、

いまやるべきものが明確になり、重要な仕事に集中できるそうです。(真似してみます) 頭がクリアになれば、事前準備に時間を充てることができるので、焦ることも少なくなり、結果、早く仕事が片付くのではないのでしょうか。

私の経験談で恐縮ですが、かなり昔、趣味でエンジンルームの下のほう部品を無理やり外そうとしていた時、近くにいた友人に「まず上の部品を外してからの方が早くできるよ」といわれました。素人の私は手前の部品をどうにか外さないで出ないか、そのほうが楽だし、早く終わると思っていました。その友人はメカニックなので、新人研修で学んだことらしく、数十年たった今でもとても印象に残っています。

身近なところでは、冷蔵庫の奥のモノを出したいとき、手前のモノを出さずに無理やり出そうとして、手前のモノを落としたりしてしまったという経験はありませんか？ 誰でも面倒なことを飛ばしたいものです。そんなとき、仕事が早く、確実にできる人は、面倒なことにも真剣で、嫌がらずに実行していて、その大切さを改めて痛感します。一気に片付くような仕事もありますが、そこでは「差」はでないと思います。

仕事のできる人は、段取りがよいのは当たり前、挨拶もしっかりしていて、技術の向上も早い、と社長が言っていました。「一事が万事」ですね。

ご案内

販促ツール作成します！

カレンダー



ノボリ、クリアファイル、
付箋など



動画撮影、ドローンを使った
空撮も承ります！

<お問合せ>
TEL:042-349-3535

